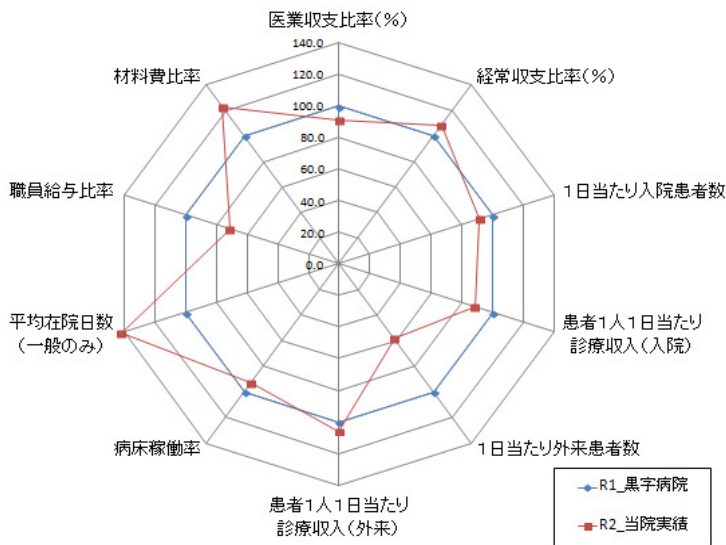




2) 令和2年度 経営分析



左の表は、令和元年度の総務省実施の決算統計において、自治体病院763病院中の医業利益がある28病院平均を100とした場合を青の点線で示しており、令和2年度の当院がどの位置にあるかを示している。

10項目中4項目は平均を上回っており、医業収支比率では、100%を下回ったが経常収支比率で111.4%と超えることができた。

新型コロナウイルス感染症の流行により入院、外来の減少や緊急手当支給などで例年と比べ構成が異なっている。また、新病院建設に係る委託費の増加等の影響により比率が減少している。

今後は、入院・外来の患者数、1人1日当たり診療収入(入院)を注視しながらさらに健全な病院経営の実践を行っていきます。

区分		R1		R2
		当院実績	黒字病院	当院実績
1	医業収支比率(%)	98.1	102.5	93.1
	医業費用に対する医業収益の比率を示す指標で、営業活動に対する収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。			
2	経常収支比率(%)	100.1	103.0	111.4
	特別損益を除いた経常費用に対する経常収益の比率を示す指標で、経常的な収益と費用との関連を表します。数値が100%を超えて高いほど経営がいいといえます。			
3	1日当たり入院患者数(274床換算)	225.6	226.7	207.8
	年間延べ入院患者数を入院営業日数で除した人数で、入院患者数を分析する上で最も基本的な指標です。			
4	患者1人1日当たり診療収入(入院)	47,639	60,541	53,559
	入院収益を年延べ患者数で除して算出した金額で、入院収入を分析する上で最も基本的な指標です。			
5	1日当たり外来患者数(274床換算)	251.3	548.9	319.7
	年間延べ外来患者数を外来営業日数で除した人数で、外来患者数を分析する上で最も基本的な指標です。			
6	患者1人1日当たり診療収入(外来)	19,104	19,053	20,216
	外来収益を年延べ患者数で除して算出した金額で、外来収入を分析する上で最も基本的な指標です。			
7	病床稼働率	82.3	81.7	75.8
	病床274床に対する入院患者数の比率を示す指標で、病床が有効に利用されているかを判断します。			
8	平均在院日数(一般のみ)	15.6	20.2	14.2
	一般病床(回復期除く)に対する入院患者の在院日数の平均を示す日数で、病床が有効に利用されているかを判断します。			
9	職員給与比率	52.8	47.1	66.1
	病院の職員数が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。 *注意点として、令和2年度集計より短時間勤務者や派遣職員の給与費が含まれている。			
10	材料費比率	21.6	27.7	22.5
	病院の材料費(薬品費、診療材料費、医療消耗備品費、給食材料費)が適正かを判断する指標で、この指標が低いほどいいといえます。			

*黒字病院とは：総務省実施の決算統計において、自治体病院のうち医業利益がある病院(763病院中28病院)